

里山のサクラたち

入学式の頃、街では、サクラが花を咲かせます。サクラは、学校や堤防、道路の脇など私たちがいつも生活する市街地や公園にたくさん植えられています。パッと美しく咲いてパッと散る性質が、私たち日本人の美しいと思う気持ちにあっているのでしょう。

里山には5種類ある

今お話しした街にあるサクラは、大部分がソメイヨシノという栽培品種のサクラで、自然には生えていません。

ところで、3月下旬から5月の初めにかけて、丘陵地を歩くと、ぽつりぽつりと野生のサクラに出会います。街のソメイヨシノのような派手さはありませんが、まわりの木々がまだ、あまり葉をつけていないので、山のサクラはたいへんよく目立ちます。富山県内の里山には、5種類のサクラが生えていますが、山のサクラは、案外知られていないようです。

より深く山の自然を観察するために、その5種類のサクラの区別方法をご紹介します。

サクラを見分ける

まず、サクラの花の形を頭に入れましょう（図の円内参照）。種類の区別は、花の「がく」と「葉の形」で行います。がくだけでもかなりの区別ができます。がくの筒状になっている部分を、がく筒（とう）と呼び、ここが見分ける時の重要な部分なのです。サクラの花を1つとって、がく筒の様子を次のように見ます。

1.毛が生えているかどうか。

2.がく筒の元の部分がふくらとしているか、または、細くてスマートか。







がく筒の毛とふくらみの有無、それと、図に書いた少しの情報で富山県の里山にある5種類を見分けることができます。

図では、がく筒に毛が生えているかいないかで大きく2つに分けていま

す。毛の生えているグループには、おしりが丸くふくれるものと、ふくれないものがあります。毛の生えないサクラには3種類ありますが、花の時期がいつか、木が低木かどうかという簡単な情報を加えて見分けて下さい。

この表を山へ持って行って、実物と比べてみて下さい。木が区別できて名前が分かるようになると、自然と親しくなったような気がして楽しいものです。
(担当 太田 道人)

富山の低山に生えるサクラの花の形
(花びらは、はぶいてあります)

がく筒に毛がある	がく筒に毛がない
 <p>エドヒガン おしりが丸い。 4月中旬に咲く。高木。</p>	 <p>キンマメザクラ 2花づつ集まって 3月下旬から4月 中旬に咲く。低木。</p>
 <p>オクチョウジザクラ がく筒が細長い。 4月中下旬に咲く。 低木～高木。</p>	 <p>ヤマザクラ 花の時に赤茶色の葉が出て いる。4月中下旬に咲く。 高木。</p>
<p>花の説明</p>  <p>がくへん がく筒 花柄</p>	
<p>ソメイヨシノ</p>  <p>カスミザクラ 花の時に緑色の葉が出て いる。5月に咲く。高木。</p>	

花がブラシ状に集まって咲くウワミズザクラとイヌザクラは除いてあります。



富山市科学文化センター

〒939-8084 富山市西中野町1-8-31 (TEL. 076-491-2123)

<http://www.tsm.toyama.toyama.jp>

平成6年4月15日